No.

件名・内容

回答

教育委員の定数を地教行法第3条前段のとおり4 名とする

(内容)

政策提言内容:教育委員の定数を地教行法第3 条前段のとおり4名とすること。

理由については、下記(1)~(5)のとおりです。

- (1)教育委員の定数が現在の5人とされている理由 私が調べたところ、教育委員の人数を地教行法第 3条前段に定められている4人よりも1名増員す る(法改正前は5人→6人、現在は法定4人→5 人に増員)理由として「市民の多様な意向を教育 行政に一層反映することができるようにするた め」(2009年3月市議会における教育総務部長の 説明)が挙げられています。
- (2)「全員一致・異議無し」の状況が20年以上続いている実態

教育委員会(定例会・臨時会)の議案審議において、少なくとも20年の長きにわたって「全員一致・異議無し」の状況が続き、事務局が提案する議案に対しての反対意見は全くありません。

私は、ほぼ毎回教育委員会の定例会を傍聴していますが、議案の審議や「協議」の際に、教育委員の方々が事務局提案に反対する意見を述べているのを聞いたことがありません。提案の文言の表現の仕方(国語的な意味で)などは指摘することがありますが、それは定例会前に連絡をすれば済む話であり、問題の本質を突いた質問や意見は皆無であると言えます。そこには上述の(1)で教育総務部長が説明している「市民の多様な意向」は微塵もありません。

(3)平方幼稚園廃園さえ「全員一致・異議無し」という実態

たとえば、最終的には閉園された平方幼稚園について、教育委員の一人の反対もなく閉園を提案したところ、市議会で2度にわたって否決されるという事実があります。

少し考えれば分かることですが、(議会がそうで

委員の定数につきましては、地方教育行政の組織及び 運営に関する法律の一部改正に伴い、委員の数の弾力化 が図れるとともに保護者からの選任が義務付けられた ことを受け、市民の多様な意向を教育行政に一層反映す ることができるようにするため増員しております。

ご提言いただきました教育委員の委員を4人に減員 することについては、今後の教育委員会の組織を考える なかで一つの提言として参考にさせていただきます。 あるように)多様な意向があるならば、事務局から提案された議案に対して賛否が分かれるのがむ しろ普通です。

(4)他の自治体の例(県内40市と杉並区の例) 埼玉県内40市(さいたま市を含む)の内、教育 委員が4人の市は33市(比率は82.5%)となっています。

また、川越市の教育委員の定数は4人ですが、現在は2名欠員となっています。

なお、東京都杉並区は、人口が上尾市の2.48倍の57万人ですが、教育委員は4人であり、内、 女性の教育委員が3人(つまり、比率は75%)と なっています。

(5)結論(政策提言)と改正手続きについて 上記(1) \sim (4)を踏まえれば、次のように結論付け られます。

今のような状況では、教育委員会の会議は全く 「市民の多様な意見は反映されていない」と思われることから、教育委員をわざわざ5人置く必要などなく、地教行法の「第三条 教育委員会は、教育長及び四人の委員をもつて組織する。」のとおり、4人で十分です。

なお、教育委員の人数を変更することの手続きに ついては、教育総務課から、文献(木田宏『逐条 解説 地方教育行政の組織及び運営に関する法 律』)を引用して教示がされています。

すなわち、「委員の定数を減員する場合は、委員 の任期途中では法定されている事由以外ではこれ を罷免することができないことから、委員の任期 満了に合わせて委員の定数を定めた条例を廃止す ればよい」とのことです。

したがって、現在の教育委員の任期満了に合わせ、「上尾市教育委員会の委員の定数を定める条例」を改正すれば足りることになります。

【受付 No. 】 7-2004

【受付日】令和7年5月30日

(担当) 教育総務課(電話) 048-775-9469

地教行法にしたがって「教育委員の年齢の偏り」を 解消してください

(内容)

上尾市の現状を見ると、教育委員は男性3名・女性2名となっていますが、男性3名の教育委員の年齢層は明らかに偏りが見られます。

この3名の教育委員の任命については、上尾市長が議会の合意を得るための議案としている経緯があることから、次回以降の教育委員の任命にあたり、年齢の偏りを無くすように人選をすすめることを政策提言いたします。

【受付 No. 】 7-2006

【受付日】令和7年6月20日

教職員の「働き方改革」について

(内容)

3

上尾市立小・中学校では、「教員の時間外在校時間を月45時間以内、年間360時間以内にする」という働き方改革の目標を掲げていましたが、令和6年度末にこれを達成した学校はありませんでした。特にある中学校では、教職員25人中8人が月100時間以上残業しており、延べ24月分もの超過勤務が報告されるなど、異常な事態が浮き彫りとなっています。

この事態を改善するため、「学校を閉める時刻」 を原則夜7時、遅くとも8時とする政策を提言します。これは、目標の月45時間以内達成には、毎日 の残業を最大2時間程度に抑える必要があるためです。

市の教育委員会では、スクールサポートスタッフや支援員の雇用、授業数削減、夏休み期間の延長などの施策を試みていますが、目標未達成という現実を受け入れ、今までとは異なる視点からの施策が必要です。一日でも早く、夜7時には学校(職員室)の明かりが消えているという状況が定着することを一市民として願っています。

教育委員会委員の任命については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。) 第4条第5項では、委員の任命に当たっては、委員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならないとされております。

当市においても、教育委員会委員の任命に当たっては、地教行法の規定を踏まえ、年齢、性別、職業等のバランスを考慮しているところでございますが、今後も、教育委員会が合議体として機能し、教育委員会本来の役割を果たせられるよう、委員の任命に努めてまいりたいと存じます。

(担当)教育総務課(電話)048-775-9469

現在、市内小・中学校においては、最早入校時間を原則午前7時30分、最遅退校時間を原則午後7時30分としております。その一方で、時間外在校等時間の長い状態が続いている教職員がいることは承知しておりますので、教育委員会といたしましても、その改善に向けてあらゆる取組を推進しているところでございます。

今後も引き続き、教職員の時間外在校等時間の縮減に 向けて、いただいたご提言も含めて、どのような取組が できるのかを検討し、教職員の効果的な働き方改革を進 めてまいります。 【受付 No. 】 7-2010

【受付日】令和7年6月27日

上尾市のフランス語教育の推進について

(内容)

上尾市でフランス語教育を推進することで、国際的な重要性を持つフランス語を学び、文化交流や人材育成を促進でき、フランスのライフスタイルや問題解決力に学びながら日本の働き方改革にも寄与し、将来的には交流センターとしての役割が期待できます。

市としての国際感覚を育む教育を通じて、若者の 意識改革や世界で活躍できる人材育成を目指し、語 学教育や多文化交流を推進することで、日本人の国 際競争力を強化し、世界に通じる人材を輩出するこ とが急務であると考えています。また、その結果を 見出すには長い年月が必要ですが、着実に前進する 過程で日本人の視野を広げ、上尾市から世界へつな がる新たな道を開拓する可能性があります。

【受付 No. 】 7-2014

【受付日】令和7年7月5日

イングリッシュサロンの参加者数の公表を

(内容)

上尾市の「政策企画提案制度」により採用され、現在部活動地域移行推進事業として実施している「イングリッシュサロン」の毎月の公民館別参加者数について、市のHP(教育委員会のページ)で公表することを提案します。

「本政策提言の理由]

- (1)採用された『政策企画提案 概要調書』によれば、ESは「市長公約に掲げる政策に合致するもの」であり、事業効果として、「参加生徒が生きた英語に触れ、実践的な英語力の向上を図ることができる」とされていること。
 - (2) 前掲の『概要調書』では、ESは「市長

(担当) 学務課 (電話) 048-775-9604

ご提案いただきました、フランス語教育の推進につきまして、貴重なご意見をいただきましたことに感謝申し上げます。本市では現在、外国語教育、特に英語教育に力を入れております。例えば、市内全小学校で文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、小学校1年生から英語活動の授業を実施しております。また、小学生がALTと英語を通して交流を楽しむイングリッシュパーティーの開催や、中学生が外国人講師と英語によるディベートやスピーチなどを通して生きた英語を楽しむ上尾英語クラブ「イングリッシュサロン」を開設するなど、様々な取組を実施しています。

このような外国語教育を推進していくことは、フランスを含む多文化理解を深め、多様な他者と協働できる豊かな国際感覚を身に付ける基盤になると考えております。いただいたご意見も参考にさせていただきながら、今後も外国語教育の推進に取り組んでまいります。

(担当) 指導課(電話) 048-775-9672

上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」は、子供 たちが「挑戦したいことに挑戦できる場を創ること」等 を目的として推進しております部活動地域移行推進事 業の地域クラブの1つとして活動しております。

本市では、休日に子供たちが自己の興味関心に合った活動を選択できる新たな場として、様々な地域クラブが活動を始めております。その中で、例えばスポーツの地域クラブであるソフトテニスやサッカー、文化芸術の地域クラブである家庭科や合唱と同じように、英語に興味をもつ子供たちが選択できる特色ある地域クラブとして、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」を設立しました。

イングリッシュサロンではこれまで、ネイティブスピーカーである外国人講師の支援のもと、ディベートや日本紹介動画作成等をはじめとする様々な英語による

4

の思いとしての英会話サークル・サロンの具現 化」にあたるとされており、参加者数を含めたE S事業の効果は、市民に向けて公表されて然るべ きであること。

- (3) 例月のESの公民館別参加者数を公表することで、年度の中途から参加しようとする児童・生徒にとって「参加者が多いから(または少ないから)参加してみよう」といった動機付けの一つになると考えられること。
- (4) 現在、情報公開請求することにより各公民館別のES参加者が公開されており、参加者数は個人情報には当たらないことから、HPで公表しても何ら問題がないこと。

【受付 No. 】 7-2019

【受付日】令和7年7月22日

活動を実施してきました。参加者からは、「英語が苦手だけれど活動が楽しい」や「学校の授業では実施しない活動があって楽しい」等の感想があり、参加者のニーズに合わせた、満足度の高い活動が実施できていると考えております。

イングリッシュサロンの活動内容の公表、市民の方への紹介やPRといたしましては、昨年度から広報あげおでの市民の方への紹介を行ったり、報道機関に取り上げていただいたりしております。さらに、小中学校に通う保護者の方へは、他の地域クラブと同じように、活動を紹介するメールを配信したりもしております。

毎月の公民館別参加者数の公表は考えておりませんが、今後も広報あげおや部活動地域移行推進事業のHP、保護者や児童生徒向けへの配信メール、報道機関へのプレスリリースなどを予定しており、活動内容を市民の方へお知らせしていく予定です。

(担当) 指導課 (電話) 048-775-9672